

社協 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪

令和6年 6月15日 No.82

編集・発行

那加三地区
社会福祉協議会



高めよう共助の意識

那加三地区社会福祉協議会 会長 吉岡 浩徳

日頃は那加三地区社会福祉協議会にご理解ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。また今年の元日に発生いたしました能登半島地震で多くの方がお亡くなりになり、今もなお避難生活をされている方々に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興が進み以前の安心安全な街が戻ってくることを心からお祈り致します。報道を見ながら被災した方々がお互いに助け合い励ましあう姿は希望を灯す力であり、元気の源に他なりません。こうした非常事態が起きた時ほど、日頃からの住民同士のつながりの大切さが見えてくるように思います。皆さんのまわりではいかがでしょうか。今後少子高齢化が益々進むことで「共助」の考えが大切であり、地域全体に広がるように那加三地区社協の目標でもある「向こう三軒両隣」の輪がつながるまちなちを目指して活動を行っていききたいと思います。

昨年度市で行われた地域福祉活動に係るアンケート調査結果で市内 17 小学校校区の中で「福祉活動に関わっている」「関心があり、今後活動に関わりたい」と答えた人数の割合がわが校区がトップとなりうれしい結果となりました。こうした福祉活動の場を多くの方に参加していただき、共助の意識が益々高まるように努めてまいりたいと思います。宜しく願い申し上げます。

校区の皆様へ わが校の福祉教育



共に学び、共に生きる

那加中学校 校長 山田 弘

今年度の那加中学校は、588人でスタートしました。子供は、家族や社会にとって、大きな可能性を秘めているかけがえのない存在です。子供たちが、多様な人々との出会いやふれあい体験などを通じて、生命の尊厳や人間の生き方について学び、それぞれの立場や心情を思いやり、互いに支え合うことの素晴らしさにふれるような教育活動を創造していくことが学校教育の大きな役割の一つと言えます。中でも福祉教育は人権教育を基本として成り立っています。

そのため、本校では、総合的な学習の時間を核に、福祉施設等の訪問や職場体験等を通して、主体的・協働的に学習に取り組み、自ら社会に参画しようとする態度を育てています。さらに地域の様々な人たちとの出会いを通じて、自分も地域の一員であり、「共に生きる」存在であるという福祉の心を育てるため、ピオトープの世話をいただいている地域ボランティア団体「つづくさの会」と連携することにより、地域の方々との結びつきをもっています。

このように学校が地域社会と連携しながら、子供たちが互いに人間的に成長し合えるような教育を進めていくことは、住民参加の地域福祉の基盤づくりにおいて重要であると考えています。本校の教育目標である「主体性」の育成を通して、将来に夢や目標を抱き、主体的に学び、多様な人々と協働できる地域社会人として成長できるように指導・支援に努めてまいります。今後におきましても何卒、ご支援をよろしくお願いいたします。



ボランティアの心を育む

那加第三小学校 校長 加藤 浩幸

62 名の新 1 年生を迎え、418 名で本年度の那加第三小学校はスタートしました。新入生を迎える入学式で、「あ・そ・ぼ・う」の話をしました。これは那加第三小学校の伝統ともいえる合言葉で、「あいさつ・そうじ・ボランティア・うたごえ」の頭文字を読んだものです。この 4 つの活動は、笑顔あふれる児童の姿となるために、学校の大切な重点活動としています。新しく那加第三小学校の仲間となった、新 1 年生のみなさんへ入学式で、学校で大切にしていることを伝えました。

このように、那加第三小学校の児童にとって、ボランティア活動は身近なもので、大切にしている活動の一つになっています。まず低学年のうちは、家庭でのお手伝いを推奨することから始めています。家族のために役に立つ経験や、ほめられて嬉しかった経験が、奉仕の心を少しずつ育むからです。中学年では、学校で仲間のために活動することを認め励ましています。任された仕事ではなく、自分で見つけて活動することが貢献する心につながっていきます。高学年では、学校全体や地域のために活動する姿の価値を考え合います。

家族のため、仲間のため、学校全体のため、地域のためとボランティアの心は、学年が進むにつれて広がっていきます。これからもボランティアの心を、発達段階に合わせて適切に育てていける小学校を目指しますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



令和6年度 社協那加三地区総会開催 (4/23) 出席者 54 名

各自治会長、民生・児童委員、各種団体の長の皆様の出席のもとで開催しました。吉岡会長の挨拶に続き、小・中学校の校長先生から学校の近況についてお話をいただきました。

議事として 8 項目の議案を審議いただき承認されました。社協の活動計画に従い進めて行きます。皆さんの協力をお願いいたします。



令和6年度 事業活動計画書

令和5年度 収支決算報告書

※金額単位円

事業活動内容		
4	21日(日)	※那加まつり 餅まき
	23日(火)	総会
5	14日(火)	近隣ケアグループ代表者懇談会
	18日(土)	※各務原市近隣ケアグループ研修会
	21日(火)	ボランティアハウス懇談会
6	(6/1~7/31) 社協会員会費募集の推進	
	11日(火)	第1回近隣ケアグループ研修会
	15日(土)	那加三地区だより(82号)発行 下旬 「暑中見舞い」ハガキ発送
8	3日(土)	※夏祭り・盆踊り大会
9	15日(日)	那加三地区だより(83号)発行
10	5日(土)	※各務原市福祉フェスティバル
	13日(日)	※那加三市民運動会 チャリティーバザー(雨天:14日) ・搬入:11日(金)
	27日(日)	那加三ふれあい食事会
11	12日(火)	第2回近隣ケアグループ研修会
	中旬	※各務原市福祉大会 親子交流会 下旬 「年賀」ハガキ発送
12	8日(日)	歳末福祉懇談会
1	7日(火)	友愛訪問
3	15日(土)	那加三地区だより(84号)発行

※印は地区以外の団体主催行事です。

※常任理事会は、毎月定例会開催。(毎月第1火曜日)

令和6年度役員名簿

役職名	氏名	住所
理事・顧問	篠田 勲	本町
理事・顧問 福祉推進員	金原 孝	前洞新町3
理事・会長	吉岡 浩徳	西野町1
理事・副会長	谷口 正樹	楽天地町
理事・会計 福祉推進員	森 涼	東亜町
理事・実行委員長	宇野 澄美夫	前洞新町1南
評議員 福祉推進員	信田 充康	本町
理事・広報委員長	坂井 達美	吾妻町
理事・実行委員	篠田 好充	栄町
理事・実行委員	長尾 利佳	前洞新町5
理事・実行委員	浅野 浩一	那加吾妻町
理事・広報委員	竹下 明男	西野町1
理事・広報委員	丹羽 和子	楽天地町
理事・育成・企画委員	小島 裕雄	東那加町
理事・育成・企画委員	岩井 洋一	三井北町1
理 事	岩本 正雄	日吉町1
〃	小山 守世	日之出町
〃	白井 隆司	吾妻町
〃	山田 千景	日吉町
〃	辻 由志子	元町
〃	藤木 晃子	東亜町
〃	堀部 君子	前洞新町3
評議員 監事	栗田 弥寿夫	三井北町3
〃	安藤 洋	門前町1
評 議 員	後藤 仲夫	西野町1
〃	川地 圭三	西野町2

収入の部

科 目	本年度予算	本年度実績	備 考
1 地区社協交付金	400,000	383,000	会費納入額の40%還元(会費口数1,915)
2 メニュー事業助成金	743,200	751,754	
(1)近隣ケアグループ研修会	30,000	30,000	助成金 研修費年1回
(2)ボランティアハウス	280,000	286,000	南栄町・太平町・西野町1・三井北町・前洞新町3・新那加町
(3)福祉座談会	20,000	16,496	近隣ケア・ボランティアハウス懇談会・地域コミュニティ会議
(4)機関誌発行・地区だより	163,200	172,251	地区だよりNo.79・No.80・No.81助成金
(5)ふれあい交流事業	100,000	100,000	助成金10万円
(6)ご近所畑事業	50,000	50,000	近隣ケア主体活動 助成金50,000円
(7)赤い羽根共同募金特別事業	100,000	97,007	①歳末福祉懇談会②友愛訪問事業
3 その他の収入	50,000	138,587	助成金30,000円・バザー84,564円・御礼5,000円・反省会19,000円・利息23円
前年度繰越金	2,143,224	2,143,224	一般繰越金1,511,080円 災害積立金632,144円
収 入 合 計	3,336,424	3,416,565	

支出の部

科 目	本年度予算	本年度実績	備 考
1 交付金・共通実施事業	280,000	204,104	
(1)事務費	30,000	12,398	印刷用インク・コピー・封筒・名札等
(2)地区育成事業	200,000	162,726	総会・理事会・常任理事会・監査等諸会議飲料代等
(3)福祉教育事業	50,000	28,980	那加三小暑中見舞葉書・年賀状
2 メニュー事業	954,340	1,007,745	
(1)近隣ケアグループ研修会	30,000	45,013	6月第1回・11月第2回 飲料・エコグッズ等素材等
(2)ボランティアハウス	280,000	286,000	南栄町・太平町・西野町・三井北町・前洞新町
(3)福祉座談会	20,000	16,827	5月近隣ケア懇談会・5月ボランティアハウス懇談会 茶菓子等
(4)機関誌発行・地区だより	164,340	172,251	6月79号・9月80号・3月81号 各3,200部印刷代
(5)ふれあい交流事業	300,000	329,964	食事会・余興等
(6)ご近所畑事業	60,000	60,683	ミニトマト栽培用品代(苗・プランター・土・支柱等)
(7)赤い羽根共同募金特別事業	100,000	97,007	①歳末福祉懇談会 ②友愛訪問事業
①歳末福祉懇談会	65,000	77,358	参加者土産代・飲み物代
②友愛訪問事業	35,000	19,649	寝たきり老人・介護者訪問お見舞い品代
3 その他の事業	50,000	110,550	
(1)啓発事業	30,000	100,550	餅まき60,000円・チャリティーバザー分館金40,000円・両替手数料550円
(2)渉外費	10,000	0	
(3)助成金	10,000	10,000	那加西民生児童委員会への年間助成金
支 出 合 計	1,284,340	1,322,399	
次 期 繰 越 金	2,052,084	2,094,166	一般繰越金1,427,458円 災害積立金666,708円
合 計	3,336,424	3,416,565	(普通預金1,081,553円 定期預金982,613円 事業未収金30,000円)

役職名	氏名	住所
評 議 員	和田 章一	新那加町
〃	浅野 初司	西那加町
〃	森 隆行	本町
〃	水野 満	日之出町
〃	辻 龍治	元町
〃	中村 哲也	吾妻町
〃	平光 健二	前洞新町1北
〃	岩田 崇秀	前洞新町1南
〃	杉山 正人	前洞新町2
〃	牧田 敏彦	前洞新町3
〃	田中 強	前洞新町4
〃	藤瀬 昭浩	前洞新町5
〃	服部 賢一	東亜町
〃	唐沢 譲	太平町1
〃	吉田 昇	太平町2
〃	磯谷 宏行	北栄町
〃	河合 哲	栄町

役職名	氏名	住所
評 議 員	谷口 功	南栄町
〃	岩井 雄二	三井北町2
〃	山田 守	日吉町
〃	土屋 通子	那加太平町
〃	宮部 三郎	西野町1
〃	伏屋 英和	西野町2
〃	野口 真弓	東那加町
〃	中山 晴美	前洞新町5
〃	森田 由香里	三井北町1
〃	只野 博	東亜町
〃	横山 文彦	太平町2
〃	岩井 利夫	三井北町2
〃	山田 弘	東亜町
〃	加藤 浩幸	東亜町
〃	竹中 啓雅	日之出町
〃	山本 瑛子	前洞新町4
〃	細野 恭子	前洞新町1